

2016年9月13日

報道関係者各位

株式会社 CyberZ

**CyberZ、人工知能を活用した開発組織「AI 技術推進室 (AITEC: アイテック)」を設立
～第一弾としてスマホ広告向け効果測定ツール F.O.X における TVCM 分析機能をリリース～**

株式会社サイバーエージェント(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:藤田晋、東証一部上場:証券コード 4751)の連結子会社である株式会社 CyberZ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:山内隆裕)は、人工知能を活用した広告の自動化・効率化、並びにアドテクノロジー分野におけるサービス開発を目的とした「AI 技術推進室 (AITEC: アイテック)」を設立いたしました。第一弾として、当社が提供するスマートフォン広告向け効果測定ツール「F.O.X」における TVCM 分析機能の提供を開始いたしました。

人工知能(AI:Artificial Intelligence)の市場規模は 2015 年に 3 兆円、2050 年には 8 兆円になると予想されているだけでなく、WEB 広告・レコメンデーションの分野単体の市場においても 2015 年には 5,666 億円、2020 年には 1 兆円に近い規模の市場に成長すると予想されています。(※1)特に人工知能の中でも機械学習や深層学習の研究分野は WEB 広告における広告の自動最適化やオートメーションに活用できると注目を集めております。

「AI 技術推進室」では、当社が所有するアドテックプロダクト(※2)における AI を活用した広告効果の自動最適化(レコメンデーション)の技術開発に取り組んでまいります。第一弾として当社が提供するスマートフォン広告向け効果測定ツール「F.O.X」にて、機械学習を用いた TVCM 分析機能をローンチいたしました。これは、今までのスマートフォン広告分析に加え、TVCM におけるプロモーション効果の分析が可能になるというものです。本機能は TVCM によるアプリのインストール、アプリ起動などのリエンゲージメント効果や WEB 広告への影響を分析することが可能です。

更に株式会社ゼータ・ブリッジ(本社:東京都渋谷区、代表取締役:安藤尚隆)が保有する「TVCM メタデータ」と連携し、関東圏の CM をモニタリングすることが F.O.X 上で可能になります。「TVCM メタデータ」はゼータ・ブリッジ社独自の自動認識エンジンを活用してテレビ CM の放送履歴を生成しております。

当社は創業以来スマートフォン広告事業の発展に従事しておりますが、今後は AI の技術を活用することで、より一層、企業のスマートフォンプロモーションの問題解決や効果向上への寄与を目指すとともに、広告効果の最適化に努めてまいります。

※1 情報通信審議会「IoT/ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方」中間答申(平成 27 年 12 月 14 日) 注:野村総合研究所作成資料

※2 当社では、スマートフォン広告効果測定ツール「F.O.X」や自動入札ツール「BID EXPRESS」、クリエイティブの効果計測ツール「CREATIVE BOX」など様々なアドテックプロダクトを提供しております。

■ 株式会社 CyberZ について

スマートフォンに特化した広告マーケティング会社として 2009 年に設立しました。サンフランシスコ、韓国、台湾支社をはじめ全世界対応で広告主のマーケティング支援をしております。当社が提供するスマートフォン広告ソリューションツール「Force Operation X」は、2011 年 2 月に国内で初めてスマホアプリ向け広告効果計測を実現し、Facebook 社の「Facebook Marketing Partners」や、Twitter 社公式プログラム「Twitter Official Partners for MACT」に認定されております。また、メディア事業においてはゲーム動画配信プラットフォーム「OPENREC.tv」を運営しており、2015 年から e-Sports 大会「RAGE」を日本国内にて運営しております。



■ 会社概要

社名: 株式会社 CyberZ

所在地: 東京都渋谷区道玄坂一丁目 12 番 1 号 渋谷マークシティ 16 階

設立: 2009 年 4 月 1 日

代表者: 代表取締役社長 山内隆裕

事業内容: スマートフォン広告事業、スマートフォンメディア事業

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 CyberZ 広報担当: 高井

E-mail: press@cyber-z.co.jp Tel: 03-5459-6276